

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	医療人基礎		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	前期	教室名	第3校舎 701教室
担 当 教 員	中岡 大輔	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年次の郊外学習やイベントに参加し、その内容をグループディスカッション等を行うことで学生の自分と医療人としての心構えを学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
受講態度、課題レポートを総合的に評価する。評価の基準は、この授業で達成すべき目標をどの程度理解したかによる。						
①素点(レポート) 70%						
②出席評価点 20%						
③平常点(授業へ取組む姿勢) 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
特になし						
《授業外における学習方法》						
各授業で習得したものを纏める						
《履修に当たっての留意点》						
医療人形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。自分でも、情報を収集し、起こっている事象の原因や今後について考えるようにしてほしい。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療人として職業理解を含めて目標を明確にする。		教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する	医療人としてコミュニケーションの必要性を纏める
		各コマにおける授業予定	自己紹介			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療人として職業理解を含めて目標を明確にする。		教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する□	医療人としてコミュニケーションの必要性を纏める
		各コマにおける授業予定	自己紹介			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	クラスのコミュニケーション大切さを理解する。□		教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する□	医療人としてコミュニケーションの必要性を纏める
		各コマにおける授業予定	オリエンテーションに参加して仲間意識を高める。□			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	外部講師を招いて医療人としてクラスのコミュニケーション大切さを理解する。□		教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する□	医療人としてコミュニケーションの必要性を纏める
		各コマにおける授業予定	講演後にディスカッションして意識を高める。□			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	外部講師を招いて医療人としてクラスのコミュニケーション大切さを理解する。□		教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する	医療人としてコミュニケーションの必要性を纏める
		各コマにおける授業予定	講演後にディスカッションして意識を高める。□			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標 クラスのコミュニケーション大切さを理解する。□	教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する	医療人としてコミュニケーションの必要性を纏める
		各コマにおける授業予定 オリエンテーションに参加して仲間意識を高める。□		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標 イベント参加によりコミュニケーション大切さを理解する。	教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する	医療人としてコミュニケーションの必要性を纏める
		各コマにおける授業予定 ハイフェス等に参加して仲間意識を高める。		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標 イベント参加によりコミュニケーション大切さを理解する。	教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する	医療人としてコミュニケーションの必要性を纏める
		各コマにおける授業予定 ハイフェス等に参加して仲間意識を高める。		